

○ '07~'19 CBR600RR フレームカバー取付け説明書 ○

1) 写真① ○印部ビスを含め、カウルサイドの見えるボルト全てを外します。

2) アッパーカウルとタンクカバーの結合部を離し、アッパーカウル両サイドを、広げます。

※ 注意

アッパーカウルは、タンクカバーのスリット(写真② ○印部)に爪が引っ掛かっていますので、破損しない様ご注意ください。

3) レザー座面を外し、写真①、② 矢印部ビスを外し、タンクカバーを浮かせます。

4) アンダーカウル右後部のビス(写真③ 黒矢印)を外し、カウルをフレームから浮かせます。

5) チェンジペダルが、フレームカバーの装着の邪魔になるので、写真④ 矢印のボルトを外し、ペダルを下に垂らします。

6) 国内仕様車は、騒音対策カバーがエンジンサイドに装着されており、フレームカバーの装着に邪魔になるようでしたら、一旦外してください。

('09~) 右側は、写真③ 白矢印部ボルトを外し、ステーを一旦外します。

左側は、写真① □部のステーを一旦外します。

7) フレーム表面の泥、ホコリ、油分、ワックスを綺麗に拭き取って、パーツクリーナー等でしっかり脱脂してください。

8) フレームに、付属の両面テープを貼り(写真⑤ 参考)フレームカバーを装着します。

('09~) 右側は、5)で外したステーとクラッチカバーの間に、付属のM6ステンワッシャーを3枚づつ入れ、ステーを浮かして取り付けてください。

左側は、ステーの取り付けボルトを、付属のボタンキャップボルト(M6X15)に交換して取り付けてください。

9) 後は分解した逆の手順にて、外装等を組みつけてください。

※ 注意

フレームが冷えている時に装着すると、両面テープが密着しにくいので、走行後など、フレームがあたたまっている時、フレームカバーを手の平で軽くフレームに押し付け、確実に密着させてください。

※ 注意

カーボン、FRP製品にありがちな、歪み、変形によって、暫くしてから浮いてくる事があります。両面テープは強力タイプを使っていますので、完全にテープが密着するまで、定期的にフレームカバーをフレームに押し付けて下さい。



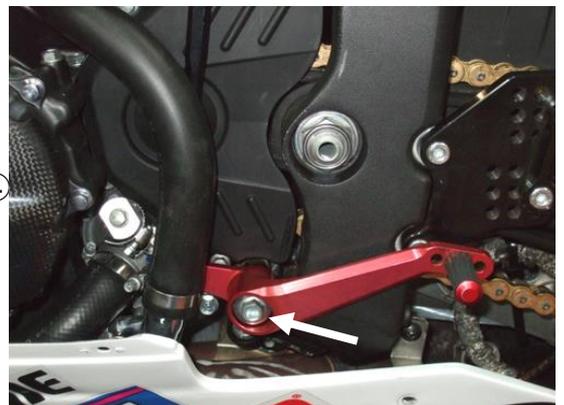
①



②



③



④



⑤

クレバーウルフ・レーシング

仕様等は予告なく変更する事があります。

御注意

必ずお読みください

当社製品F.R.P製品及びカーボン製品は、ハンドメイドで仕上げています。F.R.Pの材質や特性により多少の個体差が発生いたします。取り付けに際して純正部品との結合やボルトの穴、ステーの取り付け角度により、取り付けしづらい場合があります。お客様で修正可能な場合は補正を行って頂きますようお願い致します。

尚、本製品は焼き付け塗装を行うと、気泡が膨張し製品の表面にふくれやピンホールが生じる場合があります。加熱は40℃以下で加温して下さい。また、塗装を行われる場合は、塗装前に必ず仮付けのチェックをして頂きますようお願いいたします。塗装後のクレームには対応しかねますのでくれぐれもご注意下さい。クレームの対応は商品到着より7日間とし、お客様の正常な使用状態において、商品に不具合が発生した場合に限らせて頂きます。これからもお客様のニーズにお応えできるような製品の開発に努力致しますので、今後も当社製品の愛用をお願い申し上げます。

取扱説明書

この度は弊社製品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。

販売店及びこのパーツをご使用になるお客様へ

この取扱説明書には製品をご使用なさる際とオートバイ、自動車に装着する際の注意事項が詳しく記載してあります。よくお読みになって、正しくお使いください。本書は、いつでも取り出して読めるよう車内に大切に保管して下さい。

本文中のマークの説明

弊社の取扱説明書には、あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防ぎ本製品を安全にお使いになっていただくために守っていただきたい事項を示しています。その表示と記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 危険 ・この表示を無視して誤った取扱いをすると人が死亡または重傷を負う事に至る切迫した危険状況を示します。	 注意 ・この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または中程度の障害を負う可能性が想定される危険な状況、及び物質害の発生のみが想定される状況を示します。
 警告 ・この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される危険性を示します。	 お願い ・この表示を無視して誤った取扱いをすると、本製品の本来の性能を発揮できなかったり、故障及び利用できない内容を示します

●製品についてのご説明

- △警告 : この製品は日本国内での使用を目的に設計されたものなので海外ではご使用にならないで下さい。
This product is designed for use Japan only. It must not be used in any other country.
- △警告 : お客様ご本人または第3者の方が、この製品及び付属品の誤った使用やその使用中に生じた故障、その他不具合によって受けられた損害については、一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。
- △お願い : この製品及び付属品は、改良のため予告なく変更することがあります。
- △注意 : 弊社の製品は、オートバイ、自動車の標準地上高、またはそれに近い状態で路面に対してのクリアランスが確保されるよう設計されていますので、車高を極端に下げる改造を行うと、路面や駐車場などの突起物に接触して破損したり、接触物を損傷することがあります。また、破損物に触れるとケガをする恐れがありますのでご注意ください。
- △警告 : 競技用部品として開発・製造されたものは、無申請の公道での使用は絶対にしなさいで下さい。

●取付前に

- △お願い : 取付部分の汚れ、油分などを拭き取ってください。
- △注意 : 必ず仮付けを行い、取付位置の確認をしてください。
- △警告 : ジャッキアップ作業を行う場合、平らな場所で車輪を停止させジャッキをメーカー指定位置に確実にあてます。また安全スタンド（リジトラック）で支えてください。
- △注意 : 取付ナット、ボルトなどの締め不足はパーツが脱落する原因となりますので、しっかりと締め付けを行ってください。
- △注意 : 両面テープは指定された位置に、指定された量を正しく貼り付けてください。
(指定位置に正しく貼り付けていないと、パーツが脱落する恐れがあります。)
- △注意 : 上記同様、ナット、ボルトなどに関しても指定された位置に確実に取り付けて下さい。
- △危険 : ご使用いただくパーツのお客様自身などによる加工・修理は絶対に行わないで下さい。お客様自身で加工・修理を行うと、パーツ自体に目視では判断できない歪みが生じるなどの強度の低下を招く恐れがあり、事故などに結び付く危険性があります。
- △注意 : 梱包を解く場合は箱などの鋭利部分にご注意ください。怪我などをする恐れがあります。

●取り付け・使用方法

- △危険 : 素手での作業は怪我の原因となりますので、手袋などで保護し、作業帽、作業服などを着用し十分注意して作業を行ってください。
- △注意 : 装着の際、車両などに干渉する部分がないかご確認ください。
- △警告 : 装着初期などは取付ナット、ボルトなどがゆるみやすいので、2～3日走行後、必ず増し締めを行ってください。
- △危険 : 急発進、急ブレーキ、急旋回等の無理な走行は車両自体を痛めるだけでなく、重大な事故の原因にもなりますので、絶対に行わないで下さい。道路交通法を守り、安全に走行してください。
- △注意 : 歩道、緑石、凸凹等への乗り上げは、パーツが破損したり、亀裂が生じやすくなる場合がありますので、ご注意ください。
- △注意 : 走行前にはパーツの取り付けに不具合がないか、必ず点検を実施してください。

●異常発生時

- △危険 : 走行中に異常振動や異常音などを感じたら、直ちに安全な場所に停車し、点検してください。
(変形などを起こした場合は使用を中止し、販売店もしくはメーカーにご相談ください。)

●日常点検・お手入れ方法

- △お願い : 車検時には一部、パーツ装着の状態では車検が通らない場合もありますので、ご面倒でも一度外されるようお願いいたします。
- △お願い : パーツを車両よりはらず保管される場合は、洗浄、乾燥し変形防止のため直射日光・高温多湿の場所を避けて保管してください。
- △お願い : パーツに泥などが付着した状態で長時間放置しておきますと塗装にムラが出る恐れがありますので、洗浄などできれいな状態でご使用ください。
- △お願い : 一般に市販されている洗浄剤をご使用の際はご使用の洗浄剤の取扱説明書に従い正しくご使用ください。

株式会社 クレバーウルフ

〒547-0003 大阪府大阪市平野区加美南 3-2-16 TEL 06-6793-7011 FAX 06-6796-0802

<http://www.cwr.co.jp> e-mail:cw-fc@cwr.co.jp